

ものづくり開発塾 募集案内

主催：柏崎技術開発振興協会・新潟工科大学

テーマ：既製装置の分解から設計思想を学ぶ

ものづくり開発塾は、さまざまな分野からものづくりの研究開発の基礎やヒントを学ぶ技術者講座です。今回の講座は、ものづくりプロセスに大きな変革をもたらしている「3Dプリンタ」を題材として、部品構成、これからのキーテクノロジーなど設計思想を学ぶカリキュラムです。これまで多くの製品開発を手掛けてきた下記講師による講話を聞いて、チームごとに実際に既製の3Dプリンタを分解し、改良を加えながらリメイクしていく内容です。ぜひお気軽にご参加ください。

◇講師：合同会社 SHC設計 代表社員 増田 恒夫 氏（神奈川県）

自動車部品メーカーで5年、医療機器メーカーで26年間に渡り製品設計に従事、製品企画から市場クレーム対応までの幅広い業務を経験、また、協力メーカー・大学・公的研究機関等の共同研究による新技術の開発・導入を進め、大きな成果を上げておられます。また、本年度「経産省のフロンティアメイカーズ育成事業の海外派遣者」に選定され、平成27年2月に国際協力機構（JICA）とともにフィリピンで低価格義足の開発の活動をされる予定です。

◇カリキュラム（全4回）

日時	内容	会場
第1回 1月22日(木) 13:30～17:30	(講話)「(仮)廉価製品からみえる海外のものづくりプロセス」 (チーム)デルタ型3Dプリンタの動きを考察する。 デルタ型3Dプリンタを解体し、部品分析する。 終了後、交流会	ものづくり活性化センター
第2回 1月29日(木) 13:30～17:30	(講話)「(仮)既製品機能から改良課題を見出す視点」 (チーム)部品を考察する。 リメイクする3Dプリンタの設計(部品表、工程表作成など)	ものづくり活性化センター
次回まで	3Dプリンタのリメイク作業(各チームで自主活動)	
第3回 2月12日(木) 13:30～17:30	チーム活動の進捗報告、3Dプリンタのリメイク作業	ものづくり活性化センター
次回まで	3Dプリンタのリメイク作業(各チームで自主活動)	
第4回 3月12日(木) 13:30～17:30	(講話)「(仮)海外活動で知る日本のものづくり ～フロンティアメイカーズ育成事業を踏まえて～」 (チーム)リメイク3Dプリンタ動作確認 リメイク3Dプリンタ報告会	ものづくり活性化センター

※サポートスタッフ：新潟工科大学 ※第1回目の終了後、交流会を予定しています。

◇対象：柏崎市内の企業または柏崎商工会議所会員企業の経営者、幹部、技術者の方（受講は無料です）

◇定員：12名（先着順受付）

参加者を3チームに分けさせていただきます。メンバーにつきましては、後日連絡いたします。

◇参加申込：裏面の申込書により申込期限までにFAXまたはメールでお申し込みください。

後日、参加決定についてご連絡いたします。

《お問い合わせ》

柏崎技術開発振興協会（ものづくり活性化センター内）Tel 0257-32-2042 Fax 0257-32-2043 E-mail:center@mvc-kashiwazaki.jp